

平成22年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

くらしの安心推進課（内線：7183）

1目 社会福祉総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
犯罪のないまちづくり普及啓発事業	4,251	3,222	1,029				4,251	
トータルコスト	20,387千円（前年度 17,307千円）〔正職員：2.0人〕							
主な業務内容	優良防犯施設の認定、防犯活動の推進体制の整備、防犯意識啓発、防犯リーダーの研修							
工程表の政策目標（指標）	犯罪発生件数を30年度までに、人口千人当たり7.89件とする。 鳥取県優良防犯施設の認定数（学校等）を平成30年度までに、466件とする。							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 犯罪のないまちづくりを推進するため、県民の防犯意識の醸成を図るとともに、自主防犯活動の活性化と防犯環境の整備を促進する。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 優良防犯施設認定制度の促進 防犯能力の高い施設の普及を図るため、学校、共同住宅、駐車場、深夜小売業店舗等を対象として優良防犯施設の認定を促進する。 ・推進計画による目標 平成22年度までに45件 (2) 全県的な防犯活動の推進体制の整備 防犯ボランティア団体等による連絡会議を開催し、情報交換や他団体との連携を強化しつつ、全県的なネットワーク体制の構築を推進する。 ・東部、中部、西部の各地域において開催 (3) 県民の総合的防犯意識啓発の促進 ○防犯意識に対する普及啓発活動 ・10月1日から20日までの全国地域安全運動、年末年始の犯罪防止特別警戒運動等、広く県民に普及啓発する。 ・運動等を通じ、ポスター、のぼり、横断幕の掲示による視覚での啓発を促進する。 ○地域安全フォーラムの開催 ・防犯の専門家を講師とする講演・防犯優秀団体等の表彰等を内容とするフォーラムを開催し、県民の防犯意識の向上を図る。 (4) 防犯リーダー研修会の開催 各地域で核となって活動を推進する防犯リーダーを育成するために研修会を開催する。 ・平成23年度までに、県下に130名を目標</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 【指標】犯罪発生件数：7.89件 → 【現状】20年度：10.1件 優良防犯施設認定数：466件 → 【現状】21年度：4件（見込み） 犯罪のないまちづくりを推進するため、平成21年度から推進計画に沿って、防犯啓発、チラシの配布、県民参加の地域安全フォーラムの開催等による、県民の防犯意識の醸成や防犯活動の活性化及び防犯環境の整備を図っている。</p>								